

授業科目(ナンバリング)	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ (DB309)			担当教員	韓 榮芝		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本講義は、地域福祉と包括的支援体制Ⅰに関する概念と歴史、行政と民間の協働による地域福祉推進の担い手の役割の学びを踏まえ、これらの福祉問題を地域コミュニティにおいて総合的に解決する方法が求められる。具体的には、<u>地域福祉を推進するための福祉行財政の実施体制と担い手の役割</u>、<u>地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開</u>、<u>地域包括支援体制の考え方と多職種及び多機関協働の意義と実際について学び</u>、<u>地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解することが必要となる</u>。よって、全ての人の人権と自己決定、これからの超高齢少子人口減少社会を支える地域福祉の政策と実践、地域再生計画及び福祉まちづくり等の事例をめぐって考え、地域福祉の現場で出会う課題（災害・引きこもり・虐待・孤立孤独問題）に、主体的に取り組んでいくためのソーシャルワークの展開における知識・技術を身につけることを目的とする。</p>							①②③⑧⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	事前調べやグループディスカッションを通じて、コミュニティソーシャルワークの実践、技術などを体系的に学ぶことができる。				定期試験 課題レポート 小テスト	25% 10% 5%	
情報収集、分析力	(1) 地域福祉の民間組織・住民の役割を理解できる。 (2) 地域資源の活用・調整・開発及びニーズ把握方法と実際について学ぶことができる。				課題レポート 小テスト 定期試験	20% 5% 25%	
コミュニケーション力	地域包括ケアシステムをリードする地域福祉専門職の実践と課題を表現することができる。				授業態度 授業への取り組み	10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験の成績を50%とし筆記試験を行う（択一式、記述問題など）。小テストを10%とし、第6回目・14回目に15分程度の小テストを行う。課題レポートは30%とし、第5回目、8回目・13回目にそれまでの授業内容に関する課題を問う。毎回の事前学修シートに記入した内容・質疑応答も授業態度や授業への取り組み（10%）として評価対象とする。</p> <p>また、ポートフォリオの課題、レポート、小テスト、事前学シートなどのフィードバックを授業で行う。ポートフォリオで、課題などのフィードバックを行うので確認すること。なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話などの使用、居眠りなど）は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>地域福祉推進組織とサービス供給の多元化を知り、地域福祉に関わる政策と住民参加による地域福祉計画づくり、地域福祉の主体形成とコミュニティソーシャルワーク実践などについてディスカッションやグループワークを通して学ぶ。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：一般社団法人ソーシャルワーク教育学校連盟編集最新・社会福祉士養成講座6「地域福祉と包括的支援体制」 参考書：必要に応じ指示する 指定図書：教科書と同じ</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>指定教科書の次回授業予告箇所は必ず事前に一読して授業に臨むこと。 予習をしていれば多少難解でも授業は十分理解できるようになる。 また、講義を受けた後でその箇所を再読すれば、授業と復習とによって理解は確実なものとなる。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	<u>地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制</u>	コミュニティソーシャルワークの考え方やそれが必要となった背景を学び、コミュニティソーシャルワークが地域共生社会の実現に向けて重要であることを理解する。	地域課題とは何か、自分なりに考えてみる。5章1節を読んでまとめておく。
2	生活困窮者自立支援とコミュニティソーシャルワーク	生活困窮者自立支援制度と理念、支援過程と方法と実際について学ぶ。	5章1節を復習し、5章2節を読んでまとめておく。
3	地域を基盤としたソーシャルワークの展開	地域福祉における重要な意味をもつ住民の主体形成を支援するソーシャルワークの視点や方法を学ぶ。	5章2節を復習し、5章3節を読んでまとめておく。
4	地域包括的支援体制とコミュニティソーシャルワーク	包括的支援体制の考え方とその展開等について学ぶ。また子育て支援などコミュニティソーシャルワーカーの役割について学ぶ。	5章3節を予習する。(小テストの準備)
5	<u>地域福祉と包括的支援体制の課題と展望</u>	地域福祉と包括的支援体制の構築と発展・継続について事例から学ぶ。(ゲストスピーカー・実務家)	外部講師による講義レポートを作成する。6章1節を読んでまとめておく。
6	<u>災害時における総合的かつ包括的な支援体制①</u>	小テストを行う。 非常時や災害時における法制度について学ぶ。	6章1節を復習し、6章2節を読んでまとめておく。
7	<u>災害時における総合的かつ包括的な支援体制②</u>	災害時における総合的かつ包括的な支援について学ぶ。グループワークで災害支援方法等について確かめ合う学修を行う。	6章2節を復習し、グループワークでの内容をまとめる。
8	<u>災害時における総合的かつ包括的な支援体制③</u>	非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援について学ぶ。社会福祉協議会における災害支援の取り組み方と実際を学ぶ。(ゲストスピーカー・実務家)	外部講師による講義レポートを作成する。7章1節を読んでまとめておく。
9	<u>福祉計画の意義と種類、策定と運用①</u>	包括的支援体制を構築するうえで不可欠な福祉計画の意義と種類、策定と運営について学ぶ。	7章1節を復習し、7章2節を読んでまとめておく。
10	<u>福祉計画の意義と種類、策定と運用②</u>	市町村地域福祉計画及び都道府県地域福祉支援計画の内容について、2000年には法定化されるまでの歴史の変遷を踏まえて学ぶ。	7章2節を復習し、7章2節を読んでまとめておく。
11	<u>福祉計画の意義と種類、策定と運用③</u>	福祉計画の策定過程と方法について学ぶ。個別で地域福祉活動計画を立てた後、グループで確かめ合う学修を行う。	グループワークでの内容をまとめる。7章4、5節を読んでまとめていく。
12	<u>福祉計画の意義と種類、策定と運用④</u>	福祉計画におけるニーズ把握方法・技法及び評価について学ぶ。	7章4、5節を復習する。(小テストの準備)
13	<u>地域共生の実現に向けた多機関協働</u>	福祉以外の分野との機関協働の実際を学ぶ。 (ゲストスピーカー・実務家)	外部講師による講義レポートを作成する。8章1-3節を読んでまとめておく。
14	<u>福祉行財政システム①</u>	小テストを行う。 都道府県、市町村の役割について行政のシステムを理解する。事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う。	8章1-3節を復習し、8章4-6節を読んでまとめていく。
15	<u>福祉行財政システム②</u>	地方の分権化の状況と国と地方の関係、及び国家予算、地方予算ともに現在、最も多くの割合を占めている福祉の財源の現状について学ぶ。	8章4-6節を復習する。 定期試験の準備。
15	振り返り総まとめと復習	全体内容の振り返り、過去問練習	定期試験に向けて学修
16	定期試験		